

平成 29 年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル 実施要項

1. 目的
 - 1) 看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。
 - 2) 看護を提供するための組織化並びにその運営の責任の一端を担うために必要な知識・技術・態度を習得する。
 - 3) 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析する能力を高める。
2. 期間 平成 29 年 6 月 13 日 (火) ～平成 29 年 8 月 18 日 (金) の 26 日
火・水・木・金曜日のうち 2～4 日/週予定 (ただし、8 月 14 日(月)～16 日(水)は除く)
時間は 9 時 30 分～12 時 30 分、13 時 30 分～16 時 30 分
3. 場所 宮城県看護協会会館・看護研修センター
4. 受講人数 80 名
5. 受講資格 次の条件を満たしている者
 - 1) 日本国の看護師免許を有すること
 - 2) 看護師免許取得後、実務経験が通算 5 年以上ある者
6. 内容 別紙ファーストレベル教育課程カリキュラム参照
7. 応募方法 1) 提出書類

(1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講調書 (様式 2)

(2) レポート

テーマ : 管理の視点から見た自己の課題とこの研修で学びたいこと

文字数 : 本文は 800 字以上、1,000 字以内

作成方法 : A4判用紙1枚(縦置き、横書き)とし、1行目にテーマ、2行目に所属・氏名、3行目から本文とする。なお、本文は 40 字×25 行になるよう設定する。
表紙不要、ワードプロセッサで作成のこと

※下記「レポート作成見本」参照

<レポート作成見本>

- 1 行目 (テーマ) →
- 2 行目 (所属・氏名) →
- 3 行目以降 (本文) →

管理の視点から見た自己の課題とこの研修で学びたいこと
○○○ ○○○○

{ ○○○○○・・・
3 行目～27 行目に本文
本文は 40 字×25 行

2) 提出方法 施設毎まとめて郵送してください

8. 申込期間 平成 29 年 4 月 3 日 (月) ～4 月 17 日 (月) 必着

9. 受講者の選考および通知

- 1) 受講要件（受講資格を満たしていること、提出書類が整っていること）を満たしていること。
- 2) 定員を超過した場合、認定看護管理者教育課程運営審査委員会において選考します。
- 3) 選考結果は本人及び所属長宛に通知します。

10. 修了要件および修了証の交付

- 1) 修了要件
必要な科目の習得をもって修了とする。科目の習得とは以下の (1) (2) の要件を満たした場合をいう。
 - (1) 各科目の所定時間数の5分の4以上の出席があること
 - (2) 各科目の評定がC以上であること
評定基準（S：100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：59点以下）
Dの場合は、1回のみ評定を受ける機会がある。
- 2) 修了要件を満たさなかった場合
 - (1) 習得できなかった科目については次回開催年度受講することができる。
- 3) 修了要件を満たした者に修了証を交付します。

11. 受講に関する経費

日本看護協会会員	受講料 100,000 円、科目審査料 1 科目あたり 2,000 円
非会員	受講料 150,000 円、科目審査料 1 科目あたり 2,000 円

受講決定の場合、通知文書に「払込取扱票（振込用紙）」を同封しますので、受講料をもよりの郵便局より指定の期日までに振り込んでください。

12. その他

講師名・日程については受講決定の通知文書でお知らせします。

13. 応募・問い合わせ先

宮城県看護協会 教育部

〒980-0871 仙台市青葉区八幡二丁目 10-19

TEL 022-273-3923

認定看護管理者教育課程ファーストレベルカリキュラム

	時間数	科目	ねらい	単元
1	15	看護管理概論	<ol style="list-style-type: none"> 看護管理に必要な知識体系を学び、看護管理への活用を理解する。 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察する。 	<ol style="list-style-type: none"> 看護管理の概要 看護管理者に必要な基礎知識 看護管理者の役割と活動 労務管理の基礎知識
2	30	看護専門職論	<ol style="list-style-type: none"> 拡大・変化する看護専門職の機能と活動範囲を予測し、看護実践の改善に向け考察する。 看護職の自律性と責務を理解する。 看護に関連する法律や制度の変化を捉え、看護管理の視点で変化の意義や適応を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 看護専門職の役割と機能 看護実践における倫理 看護の社会的責務と法的根拠
3	15	ヘルスケアシステム論	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスケアシステムの構造と現状、保健医療福祉制度を理解する。 保健医療福祉制度の変化が看護管理に与える影響を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 我が国におけるヘルスケアシステムの構造 保健医療福祉の動向
4	30	看護サービス提供論	<ol style="list-style-type: none"> 看護サービスの基本的概念を理解する。 看護サービスの対象となる人々の権利を尊重した、看護サービスの提供過程を理解する。 安全を保障しながらより質の高い看護サービスを提供する方法を理解する。 看護サービス提供上の問題を論理的に解決する思考を学ぶ。 	<ol style="list-style-type: none"> 看護サービスの概要 看護サービスの質管理 問題解決
5	30	グループマネジメント	<ol style="list-style-type: none"> 組織集団の基本概念、集団の力動的諸機能を理解する。 看護チームにおけるリーダーの役割、医療チームにおける看護の役割を理解し、連携・協働のあり方を学ぶ。 組織目的の達成に向けてメンバーが行動を取れるよう諸理論の活用を考察する。 	<ol style="list-style-type: none"> グループマネジメントの基礎理論 看護チームのマネジメント チーム医療と連携
6	15	人材育成論	<ol style="list-style-type: none"> 人材育成のための基本的な概念を理解する。 現場(看護単位)における後輩育成や指導方法を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 人材育成の基礎知識 人材育成の方法
7	15	看護情報論	<ol style="list-style-type: none"> 情報の概念と特徴を理解し、倫理的な取り扱いを学ぶ。 患者ケアに役立ち、看護の質改善に資する情報管理のあり方を学ぶ。 	<ol style="list-style-type: none"> 医療・看護情報の概要 看護情報の倫理的側面と対応 看護実践に活かす情報管理
	3	その他	論文作成の基礎知識	
	6		開講式・閉講式・オリエンテーション等	
総時間		159 時間		